

カトリック八尾教会ニュース 2024年9月



【今月の予定】

ミサの時間

Tháng chín

— すべてのおのちを守るための月間（9/1～10/4まで） —

1日(日) 年間第22主日 7:00

↳ 被造物を大切に 世界祈願日 10:00

8日(日) 年間第23主日 7:00

10:00

典礼委員会(ミサ後)

14日(土) 十字架称賛 -----

15日(日) 年間第24主日 7:00

↳ 祖父母と高齢者のための 10:00

世界祈願日 ベトナム語のミサ 15:00

21日(土) 子ども会(初聖体勉強会) 14:00

信仰講座 16:00

22日(日) 年間第25主日 7:00

10:00

23日(月) 病者・障がい者とともに歩むミサ(14:00)

29日(日) 年間第26主日 7:00

↳ 世界難民移住移動者の日(献金) 10:00

【平日のミサ】 木曜日 10:00

5日、12日、19日、26日

(故ジャック バン. アッセ神父様2013. 9. 1追悼)

「敬老の祝福式」、病者のための祈りの集い

ベトナムの子どもの日の祝賀会(ミサ後)

(故ペトロ 平松郡太郎神父様1984. 9. 26追悼)

子どもとともにささげるミサ

教区行事(カテドラルにて)



■ブロック子ども会夏のつどいがありました！

8月3日(土)

八尾教会にて神父様や保護者やスタッフたちと猛暑の中、子どもたちがゲームや平和の願いを込めて、折り紙で作品を作り、ミサをみんなで捧げました。



へいわじゅんかん ささ
■平和旬間ミサが捧げ

せいぼひしやうてんさい ごうどうついでとうしき
■聖母被昇天祭に合同追悼式が

られました！ 8月11日(日)

おこな
行われました。 8月15日(木)

子どもたちが
へいわねが
平和の願いを込
めて作成した
さくせい
作品の奉納と
さくひん ほうのう
祈りが捧げられ
ました。



あんない
<ご案内>

■敬老の祝福式を行います

9月15日(日) 10時ミサ

にほん きやうかい
日本のカトリック教会では、9月15日を「祖父母と高齢者のための世界祈願日」—「老いの
ひ す さ
日にもわたしを捨て去らないでください」(詩編71・9参照)—としています。

とうきやうかい
当教会でも、ミサ(10時)の中で祈りと敬老の祝福式を行いますので、どうぞ、ご参加くだ
さい。75歳以上の方には、メッセージと記念品をお渡しいたします。

ひさ
久しぶりに

チェ ジュヨンしんぶ
崔 周永神父

ひさ
久しぶりに、韓国^{かんこく}の母^はに電話^{でんわ}を掛^かけた。この前^{まえ}、韓国^{かんこく}で起^おこった事件^{じけん}のため、許可^{きよか}を得^えて保管^{ほかん}
している刀^{かたな}がきちっと管理^{かんり}されているかと韓国^{かんこく}の警察署^{けいさつしょ}から連絡^{れんらく}があったのだ。事件^{じけん}というの
は、精神状態^{せいしんじやうたい}の芳^{かたな}しくない人^{ひと}が刀^{かたな}で人^{ひと}を切^きりつけ、殺^{ころ}してしまっただことだった。何^{なん}てことだ。
管轄^{かんかつ}の警察署^{けいさつしょ}に電話^{でんわ}を入れ、一部始終^{いちぶしじゆう}を説明^{せつめい}した。海外^{かいがい}で住^すんでいるので、送^{おく}られてきた案内通^{あんないとお}
りの手続^{てつづ}きはできないから、その代わり^かの確認^{かくにん}が欲しいと。警察官^{けいさつかん}は、刀^{かたな}が置^おいてある場所^{ばしょ}が
実家^{じっか}だと分^わかると、実家^{じっか}の母^はに電話^{でんわ}で確認^{かくにん}すると言^いって来た。こういう訳^{わけ}で、母^はが驚^{おどろ}かないため
に、電話^{でんわ}をして、警察官^{けいさつかん}から連絡^{れんらく}が近々^{ちかぢか}くるだろうと告^つげた。電話機^{でんわき}向^むこうの母^はは、私^{わたし}の安否^{あんび}を
尋^{たづね}ねていた。お元氣^{げんき}なのかと。食事^{しょくじ}もちゃん^とと取るようにも言^いっていた。胸元^{むなもと}から上^あがってく
る、すぐにでも漏^もれそうな悲^{かな}しみを堪^{こら}えた。司祭^{しさい}であるにせよ、長男^{ちやうなん}が死^しんだため、一人息子^{ひとりむすこ}
次男^{じなん}に、何故^なぜ、もっと頻繁^{ひんぱん}に連絡^{れんらく}をしてこないのかと叱^{しか}るとか、自分^{じぶん}の寂^{さび}しさや悲^{かな}しみ等^{など}の事情^{じじやう}
を訴^{うた}えてくるのではなく、外国^{がいこく}で司祭^{しさい}として働^{はたら}いている息子^{むすこ}のことをひたすら心配^{しんぱい}して、慰^{なぐさ}
てくれた。それが却^{かえ}って堪^{たま}らなく悲^{かな}しかった。

ひさ
久しぶりに、この前^{まえ}は休^{やす}みが取^とれた。月曜^{げつよう}の祝^{しゅく}日^{じつ}と木曜^{もくよう}の聖母被昇天^{せいぼひしやうてん}の8月15日^{がつにち}が丁度^{ちやうど}
事務局^{じむきやうく}も開^{ひら}かないため、タイミン^{やす}グよく休^{やす}むことができたのだ。疲れ^{つか}が溜^たまっているので、思い
っきり寝貯^{ねた}めたりはせず、一所懸命^{いっしょけんめい}自^じ転車^{てんしゃ}に乗^のっていた。午前中^{ごぜんちゆう}ライディン^でグに出^でて、また夜^{よる}ラ
イディン^{りやううで}グもしたのだ。両腕^{りやううで}と両足^{りやうあし}、日差^{ひざ}しに晒^{さら}された部^ぶ位^いはかなり日焼^{ひや}けした。手袋^{てぶくろ}をはめ
ていたので、手^てには日焼^{ひや}けしてないの、手首^{てくびあ}当たり^ありにくっきりした日焼^{ひや}けの境^{きやうかいせん}界^{せん}線^{せん}ができてし
まった。もっと面白^{おもしろ}いこと、指^{ゆび}なし手袋^{てぶくろ}はファスナ^つーテ^とープ^{ところ}が付^ついている所^{ところ}でもって首回^{くびまわ}りに

しっかりと密着したはめ方をするが、手の甲にちよこつと穴が開くようになる。この穴を通して射してきた日差しによる斑点ができたのだ。両手にだ！ まだ暑い日々は大分残っているだろうが、夏の思い出の一つとして微笑ましいなと感じてしまう。一日に2回、3時間以上自転車に乗るとなると、体力もよくなるし、自転車の乗り方も上手くなる。ただペダルを回すだけなのに、自転車は奥深い。その単純さと純粋さが溜まらなく魅力的なのだ。

人と会話を通して得られる所と独りで静かな黙想による閃きとは違うような気がする。何故なら、閃きとは言え、ことの一面しか見てないからだ。しかし、会話、あるいは分かち合いの形で、ある物事を語り合っていると新しい観点や解釈方に気づくのだ。

20年以上も連絡が途絶えていた、韓国のシスターと長くカトク（日本のライン）でお喋りをすることが最近多くなった。修道会から出て、完全に治ってない状態の体、司祭に成れないため挫けてしまった召命、ずたずたになっていた心と魂のことを語り合った。分かち合った。

その結果、素晴らしい救い、神様からの多くの恵みを頂いた時期だったと、もっとはっきり分かったのだ。

一日一日、必死で生きてきたが、それは自分の力ではなかった。

皆様も一緒にしようね。

